

7/25 木

## 東京のコロナ陽性率急上昇

東京都が24日に発表した新型コロナウイルス感染症検査の陽性率は、13・1%と高い水準でした。これは、第3波による深刻な感染拡大の状況下にあった昨年末と同水準です。

か3週間ほどで倍になりました。限られた検査数の中での陽性率上昇は、市中感染の拡大に検査が追い付いていないことをあらわします。

東京での陽性者数は、過去最悪のペースで増加していますが、陽性率の山める割合を示す陽性率は19日以降、10%を超える高い数値が連続しています。7月1日には5・4%だった陽性率は、わず

か3週間ほどで倍になりました。限られた検査数の中での陽性率上昇は、市中感染の拡大に検査が追い付いていないことをあらわします。

過去最悪のペースで増加しているのですが、陽性率の山める割合を示す陽性率は19日以降、10%を超える高い数値が連続しています。7月1日には5・4%だった陽性率は、わずか3週間ほどで倍になりました。限られた検査数の中での陽性率上昇は、市中感染の拡大に検査が追い付いていないことをあらわします。

過去最悪のペースで増加しているのですが、陽性率の山める割合を示す陽性率は19日以降、10%を超える高い数値が連続しています。7月1日には5・4%だった陽性率は、わずか3週間ほどで倍になりました。限られた検査数の中での陽性率上昇は、市中感染の拡大に検査が追い付いていないことをあらわします。

## 感染拡大に検査追いつかず

五輪関連のコロナ対策から見ても明らかです。東京五輪組織委員会などの選手や大会関係者は一日1回、唾液PCR検査の実施が定められています。空港検疫を通過した関係者数は、約2万900人であることから、毎日同人数の検査実施が想定されます。

一方、人口約1400万人の東京都では検査数が1週間平均で6604件（24日時点）。日曜日や祝日は検査機関が休日となるため、1月中旬以降は2000件台で23日の検査数は、274件でした。都の検査能力は、通常時1日あたり約7万件、最大稼働時は約9万7000件確保しているといいます。感染が急拡大する中で、なぜ都は保有する能力を積極的に活用して、検査数を増やすのか。検査を早急に増やすことがいま必要です。（田中智）